

押し開ける

第2類医薬品

販売名：パオニン葛根湯内服液II

▲ 使用上の注意

相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
(1) 医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。(4) 胃腸の弱い人。(5) 発汗傾向の著しい人。(6) 高齢者。(7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。(8) 次の症状のある人。むくみ、排尿困難(9) 次の診断を受けた人。高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 1ヶ月位(感冒の初期、かぜ、頭痛に服用する場合には5~6回)服用しても症状がよくなるない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

服用に当たって、この説明文書をお読みください。また、必要な時に読めるよう大切に保存してください。

効能・効果

体力中等度以上のものの次の諸症：感冒の初期(汗をかいていないもの)、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み

用法・用量 次の量を1日2回食間に、よく振ってから服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	1本	2回
15歳未満	服用しないこと	

定められた用法・用量を厳守してください。本剤は1回1本の服用で飲みきります。
成分・分量 2本(90mL)(大人1日服用量)中、次の成分を含有します。

成分 (2本中 8.3g)
葛根湯エキス(カッコン8g、マオウ4g、タイソウ4g、ケイヒ3g、シャクヤク3g、カンゾウ2g、ショウキョウ1gより得た軟エキス)


添加物として、白糖、D-ソルビトール、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、安息香酸Na、パラベン、香料(ℓ-メントール)を含有します。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。(2) 小児の手の届かない所に保管してください。(3) 他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になったり品質が変わります)。(4) 配合成分により、沈殿を生じることがあります。よく振って服用してください。(5) 使用期限(外箱及びビンラベル)のすぎた製品は服用しないでください。

副作用被害救済制度 ☎0120-149-931

企画元：
株式会社ツルハグール・フーマー・チンタイシング
製造販売元

 大生堂薬品工業株式会社
岐阜市六条大溝3丁目3番17号
お客様相談室
大生堂薬品工業株式会社 058-271-9481
(9:00~17:00 土、日、祝日を除く)

かぜのひきはじめに

パオニン葛根湯II 内服液 PAONIN KAKKON-TO ORAL LIQUID

1日2回
満量処方

45mL×2本

第2類医薬品



かぜのひきはじめに

パオニン葛根湯II 内服液 PAONIN KAKKON-TO ORAL LIQUID

かぜのひきはじめに パオニン葛根湯II 内服液 PAONIN KAKKON-TO ORAL LIQUID

- 発熱
- さむけ
- 頭痛
- 鼻水
- のどの痛み
- 肩こり
- 筋肉痛

眠くなる成分は入っていません

● 発熱

● さむけ

● 頭痛

● 鼻水

● のどの痛み

● 肩こり

● 筋肉痛

1日2回
満量処方

第2類医薬品

1日分 45mL×2本